

《令和元年度「古都祝奈良2019-2020」事業計画》(案)

奈良市は平成 28 年度に国家プロジェクト「東アジア文化都市 2016 奈良市」の開催都市として、年間を通じて様々なアートプログラムを展開し、奈良市の「場の力」を内外に発信した。

平成 29 年度以降はその成果を受け継ぐ事業として、奈良市アートプロジェクト実行委員会を立ち上げ、アートの力で地域の社会課題を掘り下げ、文化の多様性を創造力へとつなげるために奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」を実施している。

令和元年度についても、平成 29 年度に策定した「事業構想」に基づき、事業を継続実施する。

基本的な考え方

- ・令和元年度の事業タイトルは「古都祝奈良 2019-2020」とする。
- ・事業構成は「クリエイティブプログラム」「ラーニングプログラム」とする。
- ・プログラムディレクターは、美術プログラムは西尾美也氏、演劇プログラムは田上豊氏とする。
- ・「東アジア文化都市 2016 奈良市」を契機に始まった、中韓のパートナー都市との青少年交流事業「東アジア文化創造 NARA クラス」(奈良市主催)と連携する。
- ・奈良市教育委員会との連携により、小・中学生が事業に参加しやすいスケジュールや学校へのアウトリーチ活動を検討、調整し、より多くの子どもたちがプログラムに参加できる機会を設ける。



事業の展開方法

(A) クリエイティブプログラム

国内外で活躍するアーティストによる創作のみならず、地域や市民との創作過程での関わりを重視したプログラム

(1) 北澤潤氏によるプロジェクト

インドネシアを拠点に活動するアーティスト北澤潤氏を参加作家とし、市民との共同制作を行う。日本で数々のプロジェクトを実施したのち、自らとプロジェクトとの関係性を模索するためにインドネシアに居住した北澤氏による、奈良とインドネシアをつなぐようなプロジェクト。

■作家プロフィール



美術家。1988年東京生まれ、ジョグジャカルタ拠点。

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。合同会社北澤潤八雲事務所代表。さまざまな国や地域でのフィールドワークを通して「ありえるはずの社会」の姿を構想し、多様な人びととの立場を越えた協働によるその現実化のプロセスを芸術実践として試みる。2013年よりIPA - Institute for Public Art 研究員(上海)、2016年に米経済誌フォーブス「30 Under 30 Asia」アート部門選出。2016年から2017年にかけて国際交流基金アジアセンター・フェロー(インドネシア)。

※案の詳細は別紙参照

(2) 青少年と創る演劇(仮)

「東アジア文化都市 2016 奈良市」に始まった継続プログラム。目的はこれまでと同様に、次代を担う青少年が創作の過程を演劇のプロとともに経験することで、創造する喜びを体験し、その成果を発信するとともに、ふるさと・奈良を自分の言葉で語ることができる人材を育成することであり、田上豊氏の演出のもと、新作を創作する。奈良の演劇関係者も事業に携わることのできるプログラムとなるよう連携する。

■スケジュール案

- 7月 募集開始
- 8月 オーディション、事業説明会
- 9月 ワークショップ
- 10月 基礎練習
- 11月 プレ稽古

12月 本稽古

12月21日(土) 本公演

(B) ラーニングプログラム

アートを手法にした学び合いや創作体験を通じて獲得したものを次世代へ伝えていくためのプログラム

(1) 平田オリザさんによる演劇ワークショップ

演劇を手法として新たな気づきを得ることが出来たと参加者から非常に好評なプログラムを継続する。今年度は参加者層別の内容で、2回実施する。

■実施日

11月17日(日) 午前 中高生向けワークショップ／午後 一般向けワークショップ

(2) グリーン・マウンテン・カレッジ

昨年度新たに実施したプログラムを継続する。たき火とティピーテントのもとに集まり対話することで共有空間を獲得すること、また学び合いにより獲得したものを次世代へ伝えていくことが、そのまま作品となるという考えのもと実施する。

■実施日

9月29日 テーマ：東アジアと奈良／ゲスト：未定

※東アジア文化創造 NARA クラスと連携プログラム

11月17日 テーマ：演劇／ゲスト：平田オリザ氏

〇月〇日 テーマ：今年の「古都祝奈良」の美術／ゲスト：西尾美也氏、北澤潤氏

12月21日 テーマ：青少年と創る演劇／ゲスト：田上豊氏、制作スタッフの方々

(3) 北澤潤氏によるプロジェクト

(4) 青少年と創る演劇(仮)

事業報告・アーカイブ

■「アート de 奈良」の実施

奈良市内で行われている現代アート実施団体が一堂に会し、事例報告と意見交換を行う。昨年実施し好評だったため、今年度は学園前アートフェスタ使用会場にて実施する予定。

■「古都祝奈良」記録集（2017-2020）の作成

今年度で3年目となった事業のアーカイブとして、3年間の事業をまとめた記録集を作成する。

平成31年度（古都祝奈良 2019-2020） 予算

事業費としては、実行委員会が支出する経費として以下の事業費を見込む。

[収入]

単位：千円

費目	平成31年度	備考
市負担金収入	11,731	
合計	11,731	

[支出]

単位：千円

費目	平成31年度	備考
事業・広報費	11,200	美術、演劇等主要事業、広報宣伝費
事務管理費	531	事務費、運営費
合計	11,731	